

8月1日(火)発行

MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

# ほぼ 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



指揮：鈴木秀美 ヴァイオリン：石上真由子

## ご来場者の声

まさかサマーミュージックでこんな凄いものを聴かせてもらえるとは予想もしていませんでした、感謝！私的にはサマーミュージック史上最高の演奏会。(匿名) / 年に数回山形まで聴きに行く山響ファンですが、山響らしい音楽がミュージックで聴けて、楽しかった(50代・自由業・かものはっしー) / 石上さんの奏でる一音一音が丁寧に美しく、至高のひとときでした(20代・りっちゃん) / プレトークで鈴木秀美さんが、楽器の話をしてくださったのがとても良かった。曲目についての説明もとてもわかりやすく、期待をもって演奏を聴くことができました。(匿名) / 山響については知人から評判を聞いていたので、ぜひ聴いてみたいと思っていたのですが、素敵なオーケストラですね。石上さんのベートーヴェンも、弾く喜びにあふれていてとても良かったです。(60代・グレゴール・ザムザ) / 定番曲にもかかわらず、とても新鮮で面白かったです。山響の規模 × ナチュラルプラス × 鈴木秀美の組み合わせは最強でした。加えて石上さんの繊細な演奏により何十回と聴いているはずのベートーヴェンの協奏曲を初めて聴いたような感覚になりました。山響の東京公演は過去何回か聴いてますが今日で印象が変わりました。(60代・おけらマン)

を堪能できた。プレトークで「この場の演奏者、お客様との演奏会はいましかない。長い方が楽しいんです！」と語った鈴木は、リピートを全て決行。説得力ある解釈、あふれる熱気で求心力を保ち、大曲を見事に構築。アンコールにベートーヴェン「12のメヌエット」第11番が奏でられ、鈴木秀美と山響の“楽興のとき”は颯爽と締めくくられた。(林昌英/音楽ライター)



山形交響楽団がサマーミュージックに初登場し、首席客演指揮者の鈴木秀美と共に目の覚めるような快演を聴かせた。弦は8-7-5-5-3という小編成で、ヴィブラートを抑えたピュア・トーン。金管はナチュラル管を使用。音程や発音は不安定になるが、得られる面白さや感興はそれを補って余りある。前半はベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲。いま注目のヴァイオリニスト石上真由子が、ピリオド・アプローチによる鮮烈かつ完璧な美演を実現。ほぼノン・ヴィブラートであるばかりか、開放弦やフラジョレットの効果的な用法、自在かつ決然とした右腕のコントロールなど、

完成度が高い。なにより、知的で研ぎ澄まされていないながら、豊かな歌があり温かい。鈴木と山響も本作を神格化せずに瑞々しく表現。全楽章のカデンツァとソリストアンコールのベートーヴェン七重奏曲「メヌエット」は、石上が松崎国生に依頼した作曲・編曲で、緻密かつテクニカルな快作。後半はシューベルト「グレート」。ナチュラル・ホルンの開始から森の風景が浮かぶような趣き。若い奏者の多い木管セクションは表現意欲が高く、金管の独特の音色と相まって、管楽器の響き方が楽しく痛快。第2楽章後半の第2主題再現は、木管のメロディの受け渡しや絡みが埋もれず万全に聴こえて、名場面

**Next!**  
**サマーミュージック**  
明日のチケット情報

## 東京フィルハーモニー交響楽団 サマーミュージック × ピアノ vol.6

俊英マエストロ&円熟のピアニスト ~ドラマティック名曲集~  
8/2(水) 15:00 開演 (14:00開場)  
会場：ミュージア川崎シンフォニーホール

- ハチャトゥリアン：組曲『仮面舞踏会』から ワルツ
- チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調
- ベルリオーズ：幻想交響曲

プレトーク (14:20~14:40)  
出演者によるプレトーク  
※本公演と同じお席でお楽しみください。

[料金] S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000  
U25: 各席種半額



指揮：出口大地



ピアノ：清水和音

Tel・Web予約  
▶ 当日 13:00 まで  
当日券カウンター  
▶ 14:00 より

当日券あり



# 名曲全集 第191回 期待の新星、チェリスト水野優也

フェスタサマーミュージア川崎シンフォニーホールと東京交響楽団が贈る、年10回の「名曲全集」シリーズ。今年も国内外で活躍する旬のマエストロ達やソリストを迎え、シンフォニーからコンチェルトまで様々なテーマのプログラムを取り揃えています。すでにご来場済み&これからご来場予定の方は、どの公演にご注目いただいていますでしょうか？

後期シリーズ初回である、9月16日(土)の第191回は、東響名誉客演指揮者の大友直人によるドヴォルザーク&チャイコフスキー。ドヴォルザークのチェロ協奏曲のソリストは、若き俊英・水野優也。2020年の第89回日本音楽コンクールチェロ部門第1位及び岩谷賞(聴衆賞)をはじめ、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞も受賞した、これから注目のチェリストです。情感溢れるオーケストラに、チェロの豊かなメロディ。ドヴォルザークらしさが随所に垣間見えるようなこの作品を、東響と新進気鋭のチェリストがお届けします。

後半はチャイコフスキーの交響曲

第6番「悲愴」。オーケストラの力強く華やかな響き、琴線に触れる美しい旋律・・・楽しみどころ満載の名曲ですね。第4楽章最後の一音、その余韻まで、ミュージアの音響でお楽しみください。

お気に入りの「名曲」に浸るもよし。新たな「名曲」との出会いを愉しむもよし。皆様の素敵な休日をミュージアでお過ごしいただけますと幸いです。(事業課・ゆ)



指揮：大友直人



チェロ：水野優也

## ◆ 名曲全集191回

9月16日(土) 14:00 開演

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調  
チャイコフスキー：交響曲第6番 口短調「悲愴」

[料金]  
S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000  
当日学生券 ¥1,000(要問合せ)



名曲全集  
お得な後期セット券  
好評発売中! 8/26(土)まで

1回券より約20%もお得!

## ホール2Fドリンクコーナー営業再開中

※サマーミュージア期間限定

コーヒー(HOT/ICE)	¥500	ビール	¥600
オレンジジュース	¥500	ワイン(赤/白)	¥600
塩レモンサイダー	¥500	スパークリングワイン	¥1000

限定コースター  
プレゼント!

夏仕様の作曲家たちが  
コースターになりました!  
1杯ご注文につき、  
1枚プレゼントしております。



手作り黒豚焼き餃子(5個入り)  
580円(税込み638円)

## 餃子が食べたくなったら

本日は、ミュージアのお隣に2021年に開業したカワサキデルタ内の「中華ダイニング阿里城」をご紹介します。

台湾料理のメニューも多く、ちょっとした小旅行気分も味わえるような雰囲気のお店で、実は、以前から定期的に通っているお店です。特におすすめなのが「手作り黒豚焼き餃子」。香辛料が香るジューシーなひき肉がたっぷり。定期的に食べたくな

る味なのです(あーまた。食べたくなってきた...)。すっきりした台湾ビールとの相性もぴったりですので、是非ぜひ、お試しください!

(貸館餃子担当)



パートナーショップ特典

ドリンクサービス

※お食事ご利用のお客様に限り ※優待券持参者のみ

## オリジナルグッズ販売中!

ホール内「ショップ」又は  
ドリンクコーナー前「特設販売所」にて

作曲家ふせん... ¥500(税込)  
¥455(税抜)

クリアファイル... ¥330(税込)  
¥300(税抜)

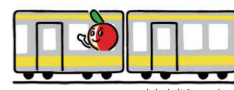


フェスタサマーミュージア公式サイト  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージア  
#お待ちどうサマー♪  
で検索 & 投稿  
お待ちしております!



Twitter: @summer\_muza  
Facebook: @kawasaki.sym.hall  
Instagram: @muzakawasaki



かわさきミュートン

## 日刊サマーミュージア Hobo Nikkan Summer Muza

ミュージア内でも二を争う鉄道ファン、だと思っっています。鉄道に関わる音楽といえは発車メロディが思い浮かびますね。なんと、発車メロディを集めた楽譜も出版されており、私も子どものトイピアノで弾いてあげて、電車遊びに付き合っています。

スタッフ日誌